

2016年7月14日

公益財団法人日本バスケットボール協会

## 公益財団法人日本バスケットボール協会

### 平成28年度 第4回理事会 報告

期日：2016(平成28)年7月14日(木) 13:00～14:30

会場：JBA 会議室

#### 【報告内容】

1. 事務局組織変更(改革推進室および審判部の新規設置)について  
※資料 1
2. 規程類の改定について ※資料 2
3. 外国籍コーチに関する特例・暫定措置の改定について  
※資料 3
4. その他

以上

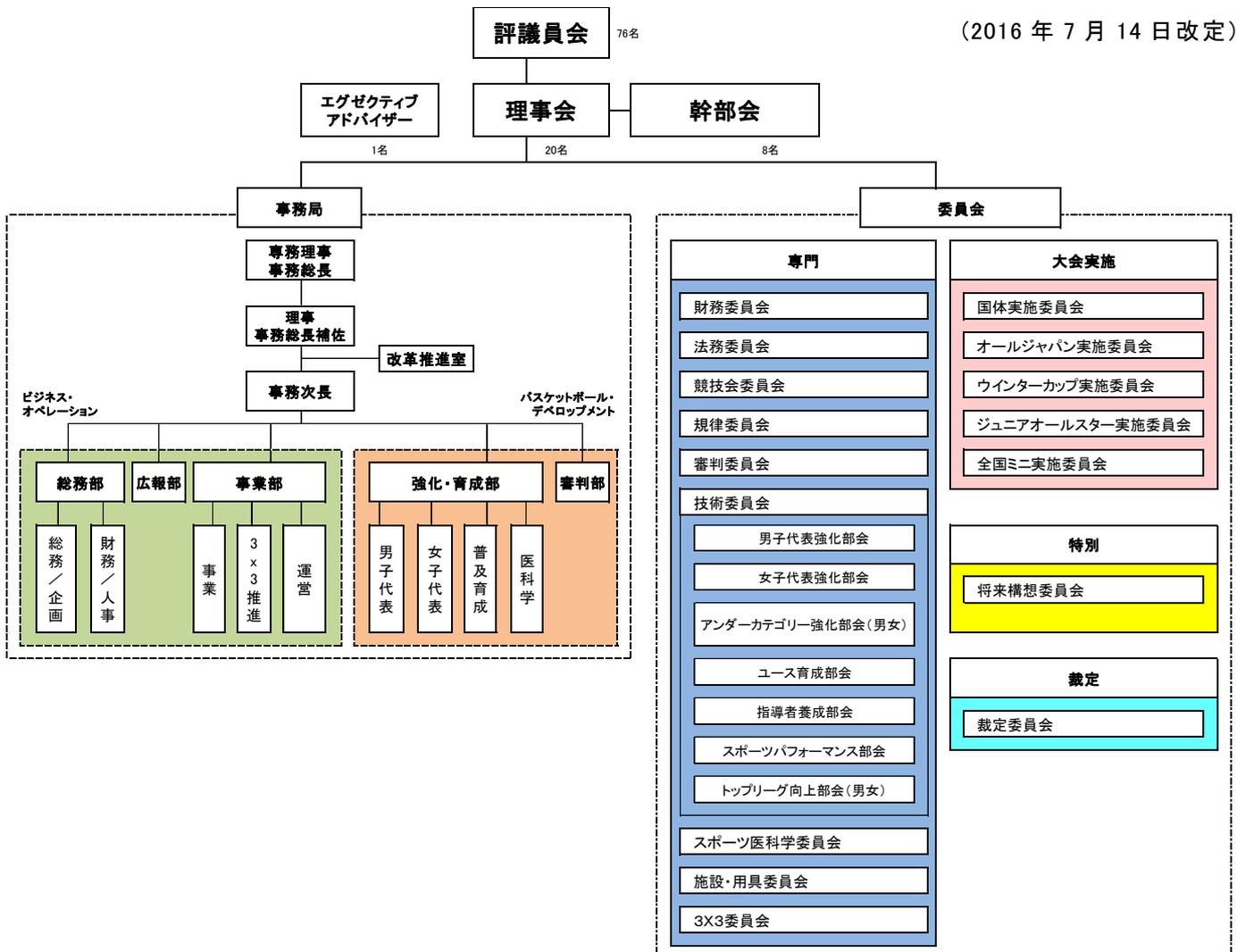
# 1. 事務局組織変更(改革推進室および審判部の新規設置)について

JBAガバナンス強化および審判育成機能強化を目的として、事務局内組織変更を行う。  
 なお、新設の改革推進室、および審判部の役割は以下のとおり。

- 改革推進室……(1)都道府県協会の相談窓口  
 (2)特別委員会(将来構想委員会)の運営と決定事項のフォロー  
 (3)「JBS」の推進とフォロー
- 審判部……(1)FIBA担当窓口の設置(JBA事務局内)とFIBAからの情報収集  
 (2)FIBAの指導内容や情報の把握と理解、展開  
 (3)情報共有システムの充実  
 (4)映像を駆使した基本指導内容の一本化

## 【公益財団法人日本バスケットボール協会 組織図】

(2016年7月14日改定)



## 2. 規程類の改定について

所属団体である「一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ機構(WJBL)」の名称変更に伴い、基本規程(第3章 所属団体 第63条[加盟種別]ほか)、評議員選定委員会運営規則の当該団体名称の記載について以下のとおり改定する。

【改定前】一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ機構(WJBL)

↓

【改定後】一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ(WJBL)

※その他、関連規程中、「バスケットボール女子日本リーグ機構」とある箇所はすべて「バスケットボール女子日本リーグ」へ読み替えることとする。

<その他>

- ・当該団体では、2016年7月7日の理事会で名称変更について機関決定済み。
- ・定款上の当該団体表記は次回評議員会にて改定手続きを行うこととする。

(※名称変更に関する詳細については、当該団体にお問い合わせください)

### 3. 外国籍コーチに関する特例・暫定措置の改定について

B.LEAGUE 発足に伴う S 級コーチライセンスの設置に応じて、リーグで指揮を執る外国籍コーチの資格基準の見直しを行う。見直しにあたっては、一定の基準を設け、質の高いコーチを招聘できるような制度とし、リーグの競技力向上に寄与することを主眼とした。

※主な変更点(※新旧対比表参照)

・B1、B2、B3、WJBL の新たなコーチライセンス基準に添って、外国籍コーチの資格も S(F)級、A(F)級、B(F)級の 3 段階のライセンスとした。

(従来はトップリーグのライセンス基準が B 級であったため、外国籍コーチのライセンスも B(F)級の 1 種類のみだった)

<参考>

・FIBA のコーチライセンスは 1 種類のみ(ランクなし)。

・ヨーロッパ各国ではコーチライセンス制度が確立されているが、国際基準として統一されたものはない。

・アメリカなどコーチライセンス制度が確立されていない国もあるため、その場合は実績での評価、判断を行う。

(※次ページ以降、参考資料【新旧対比表】ほか)

【新旧対比表】

旧規程	改定後
<p>外国籍コーチに関する<b>特例・暫定措置</b></p> <p>公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「本協会」という）が定める「公認コーチライセンス制度」および「コーチ登録規程」の附則として、<b>一般社団法人社団法人日本バスケットボールリーグ（NBL）、日本バスケットボール育成リーグ（NBDL）、一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ機構（WJBL）および株式会社日本プロバスケットボールリーグ（bjリーグ）</b>（以下、「各リーグ」という）に参加するチーム所属の外国籍のコーチに関し、<b>当面の措置として、</b>次の通り定める。</p> <p>（資格基準）</p> <p>第1条 JBA公認B級コーチ資格を有しない外国籍のコーチについては、<b>次の基準に基づき、JBA公認B(F)級コーチの資格を付与する。</b></p> <p><b>(1) 国外のコーチライセンスを有する者で、そのライセンスの種類がJBA公認B(F)級コーチにふさわしいと本協会の指導者育成委員会が判断した者。</b></p> <p><b>(2) 前項以外の者で、次の各号のいずれかの条件を満たす者。尚、「フルタイム」とは、そのポジション（コーチ）に専任として従事したことを意味する。また、①、③に関しては通算してカウントすることができる。</b></p> <p><b>① 各国のトップリーグにおいて、通算して3シーズン（3年）以上フルタイムのコーチとして活動した実績のある者。</b></p> <p><b>② NBA、WNBA、NCAAディビジョン I において、1シーズン（1年）以上フルタイムのコーチとして活動した実績のある者。</b></p> <p><b>③ NBADL、CBA、NCAAディビジョン II、NAIAディビジョン I において、通算して3シーズン（3年）以上フルタイムのコーチとして活動した実績のある者。</b></p> <p><b>④ NBL（JBL）、NBDL（JBL2）、WJBL、bjリーグにおいて、通算して3シーズン（3年）以上フルタイムのコーチとして活動した実績のある者。但し、2016年度以降のシーズンについては、活動した実績としてカウントしない。</b></p> <p>（審査および認定）</p> <p>第2条 JBA公認B(F)級コーチの審査について</p>	<p>外国籍コーチに関する<b>特例措置</b></p> <p>公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「本協会」という）が定める「公認コーチライセンス制度」および「コーチ登録規程」の附則として、<b>公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ（B1・B2）、一般社団法人ジャパン・バスケットボールリーグ（B3）および一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ（WJBL）</b> <b>《削除》</b>（以下、「各リーグ」という）に参加するチーム所属の外国籍のコーチに関し、<b>《削除》</b>次の通り定める。</p> <p>（資格基準）</p> <p>第1条 JBA公認<b>S級／A級／B級</b>コーチ資格を有しない外国籍のコーチについては、<b>別表の基準に基づき、コーチ資格</b>を付与する。</p> <p><b>《削除》</b></p> <p>（審査および認定）</p> <p>第2条 JBA公認<b>S(F)級／A(F)級／B(F)級</b>コー</p>

<p>は、所定の様式にて各リーグを通して本協会への申請を行う。</p> <p>2. 申請に際して必要な資格審査手数料は<b>5,000円</b>とする。</p> <p>3. 本協会は前条に基づいて申請内容を審査し、JBA公認B(F)級コーチの認定証を発行する。</p> <p>(登録) 第3条 JBA公認B(F)級コーチに認定されたコーチはコーチ登録をしなければならない。</p> <p>2. 登録料は<b>5,000円(1年間)</b>とする。</p> <p>3. 登録手続き、登録有効期間等は、コーチ登録規程に準ずる。</p> <p>2014年10月27日制定</p>	<p>の審査については、所定の様式にて各リーグを通して本協会への申請を行う。</p> <p>2. 申請に際して必要な資格審査手数料は<b>次のとおり</b>とする。</p> <p>①JBA公認S(F)級コーチ 270,000円</p> <p>②JBA公認A(F)級コーチ 64,800円</p> <p>③JBA公認B(F)級コーチ 30,240円</p> <p>3. 本協会は前条に基づいて申請内容を審査し、JBA公認<b>S(F)級/A(F)級/B(F)級</b>コーチの認定証を発行する。</p> <p>(登録) 第3条 JBA公認<b>S(F)級/A(F)級/B(F)級</b>コーチに認定されたコーチはコーチ登録をしなければならない。</p> <p>2. 登録料は<b>次のとおり</b>とする。</p> <p>(1)JBA公認S(F)級コーチ 12,700円/年</p> <p>(2)JBA公認A(F)級コーチ 6,200円/年</p> <p>(3)JBA公認B(F)級コーチ 5,200円/年</p> <p>3. 登録手続き、登録有効期間等は、コーチ登録規程に準ずる。</p> <p>2014年10月27日制定 <b>2016年7月14日一部改定</b></p>
--	---

### 【外国籍コーチに関する特例措置・別表】

	基準	付与資格	
(1)	2015年以降に発行されたFIBAコーチライセンスを有する者。但し、2014年以前に発行されたライセンスの場合、そのシーズンのFIBAランキングが日本を上回る国の代表ヘッドコーチを含む。	JBA公認S(F)級コーチ	
(2)	(1)以外の国外のコーチライセンスを有する者で、そのライセンスの種類がJBA公認 <b>S(F)級/A(F)級/B(F)級</b> コーチにふさわしいと本協会の <b>技術委員会</b> が判断した者。	JBA公認S(F)級コーチ JBA公認A(F)級コーチ JBA公認B(F)級コーチ ※ライセンスの種類によって付与資格を判断する。	
(3)	アメリカ合衆国(一部カナダを含む)における各リーグにおいて、フルタイムのコーチとして活動した実績のある者。	①NBA、WNBAのコーチ/1シーズン(1年)以上 あるいはNCAAディビジョンIのいずれかのコーチ/3シーズン(3年)以上	JBA公認S(F)級コーチ
		②NBA、WNBA、NCAAディビジョンIのいずれかのコーチ/2シーズン(2年)以上	JBA公認A(F)級コーチ
		③NBADL、NCAAディビジョンII、NAIAディビジョンIのいずれかのコーチ/3シーズン(3年)以上	JBA公認B(F)級コーチ

(4)	(3)以外の各国のトップリーグにおいて、フルタイムのコーチとして活動した実績のある者。	①ヘッドコーチ／3シーズン(3年)以上 あるいはリーグ優勝実績のあるチームのヘッドコーチ／1シーズン(1年)以上	JBA公認S(F)級コーチ
		②ヘッドコーチ／2シーズン(2年)以上	JBA公認A(F)級コーチ
		③コーチ(アシスタントを含む)／3シーズン(3年)以上	JBA公認B(F)級コーチ
(5)	NBL(JBL)、NBDL(JBL2)、WJBL、bjリーグにおいて、3シーズン(3年)以上、フルタイムのコーチとして活動した実績のある者。但し、2016年度以降のシーズンについては、活動した実績としてカウントしない。		JBA公認B(F)級コーチ